

平成31年全国学力・学習状況調査(2019.4.18)の結果からみた

国語・数学・英語の学力と学習や生活の状況

I 国語・数学・英語の学力 ◎は良いところ ▲は伸ばしたいところ ☆学校としての取組

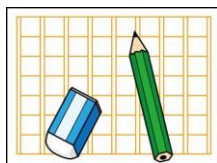
① 国語について

◎「読むこと」の領域では、3題中2題で、県平均を10%(正答率)上回っており、文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えを持つことや文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える力が優れていることが分かりました。

◎「話すこと・聞くこと」で話し合いの話題や方向を捉える問題では、登場人物の発言が話し合いの中でどのような役割を果たしているかを見極めることが、概ねできていました。また、相手にわかりやすく伝わる表現についての問題では、具体的に言い換えている部分を見つけることができました。

▲「書くこと」に関して、意見文の下書きに書き加える言葉として適切なものを選択する問題で、県の平均を下回りました。

☆授業中に文章の推敲をする機会を作り、生徒間で話し合わせ、わかりやすい表現について考える力を通して、根拠を明確にして説得力のある文章を書く力を育んでいきます。



② 数学について

◎「数と式」「図形」「関数」「資料の活用」すべての領域で全国平均を大きく上回っています。

◎「関数」については、全国平均正答率が低いにもかかわらず、今年度も高い正答率をあげ理解の高さを示しました。特に、事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明する問題では、全国平均、県平均を大きく上回り、優れていました。

◎選択式、短答式、記述式の問題すべてにおいて全国平均、県平均を上回ることができました。

▲『2枚の硬貨を同時に投げるとき、2枚とも表の出る確率を求める』という基本的な問題の正答率が低い結果となりました。

▲『ある予想に対して与えられた図が反例となっていることの説明として正しいものを選ぶ』という問題と『1日に26分ぐらい読書をしている生徒が多いという考えが適切ではない理由をヒストグラムの特徴を基に説明する』問題の正答率は、全国平均は上回ったものの、県平均を下回りました。反例の意味を理解させることや、資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明する力を育てていく必要があるようです。

☆数学用語は具体的なイメージや例とあわせて指導することにより理解が深まるようにします。また教科書に出てきた直後だけでなく、何度も触れる機会をもつことにより、定着をより確かにしていきます。

☆引き続き、数学用語を用いて、自分の考えを口頭で説明したり、ノートにまとめたりする場面を授業の中に意識して取り入れていくことにより、書くことや説明する力を育んでいきます。

③ 英語について

- ◎「話すこと」「聞くこと」「読むこと」「書くこと」のすべての領域で正答率が全国平均を上回っています。(ただし、「話すこと」については参考値。)特に「読むこと」については全国平均を9.5ポイント、「書くこと」については8.3ポイント上回りました。また、「聞くこと」と「読むこと」については、すべての問題で正答率が全国平均を上回りました。
- ◎特に「読むこと」については、発表活動のためにまとめられた100円ショップについての文章を読んで、話の流れを示すスライドとして最も適切なものを選択する問題で、正答率が全国平均を12.6ポイント上回り、まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解する力が優れていることがわかります。また、ある場所を説明する英文を読んで、空所に入る語句として最も適切なものを選択する問題では正答率が全国平均を11.2ポイント上回り、日常的话题について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を正確に読み取る力にも優れていると言えます。
- ▲「話すこと」のうち、カレンダーを見て少女の誕生日を答える問題では、正答率が低く、全国平均を下回りました。授業中の会話練習での出現頻度が低い語句について、正しく発音したり、質問に適切に応答したりする力が弱いようです。
- ▲来日する留学生の音声メッセージを聞いて、部活動についてのアドバイスを書く問題では、無回答率が15.1%ありました。全国平均よりも少ないものの、この数字からは、英語を聞いて内容を把握することの難しさとともに、英語を「書くこと」への抵抗感がうかがえます。
- ☆英語で意見交換をしたり、自分の意見を書いたりする活動について、これまで以上に相手意識や目的意識を高めてこれらの活動に取り組んでいきます。その際、書くことが苦手な生徒には適切な支援を行い、書くという意欲につながるようにしていきます。

II 学習や生活の状況について

◆「生徒質問紙」(アンケート)の結果から、全体的に次のような傾向が見られます。

1 肯定的な回答が多い事項(今後も続けてほしいこと)

- (1) 自分には良いところがあると思う
- (2) 学校に行くのは楽しいと思う
- (3) 人の役に立つ人間になりたいと思う
- (4) 話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができていると思う
- (5) 学級生活をよりよくするため、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていると思う
- (6) 国語・英語・数学の勉強は好きである



2 改善すべき事項(今後の課題となること)

- (1) 家の人と学校での出来事について話をする
- (2) 家で自分で計画を立てて勉強をしている
- (3) 学校の授業時間以外に、普段1日当たり2時間以上勉強をしている
- (4) 本を読んだり、借りたりするために、学校や地域の図書館に行く
- (5) 今住んでいる地域の行事に参加している
- (6) 地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがある



III 今後の対策

1 学校で取り組むこと

- (1) 今後も学校教育全体を通して、生徒の自己肯定感を高める取り組みを推進していきます。
- (2) 「主体的・協働的で深い学び」を視点とした授業を通して生徒の学力を向上させていきます。
- (3) 「地域と進める体験学習」を推進し、地域社会に愛着を持ち、貢献できる生徒を育てます。

2 ご家庭にお願いしたいこと

- (1) 家庭での学習習慣・読書習慣が確立するように学校と連携・協力した取り組みをお願いします。
- (2) 町内・地域の問題や出来事に関心を持てるように、行事・催し事への積極的な参加を促してください。

